

令和7年7月11日

保護者の皆様

飯豊町立第一小学校
校長 大 富 太 郎

スクールバスの登下校便運行にかかる対応について（お願い）

盛夏の候、皆様におかれましてはご清祥にてお過ごしのことと拝察いたします。また、日ごろより本校教育活動にご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

さて、暑さが増し、登下校中の熱中症による事故が心配される状況となり、教育委員会主導のもと、遠距離通学児童（2km以上）を対象に14日（月）からスクールバスの登下校便が出ることとなりました。

つきましては、それに伴い、徒歩通学児童（2km以下）について学校の対応を下記のとおり行っていきます。ご理解とご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

記

- | | |
|----------|--|
| 1 登下校の対応 | 下記の判断基準を超えた場合、お迎えをお願いします。 |
| 2 判断基準 | 本校グラウンドにて暑さ指数(WBGT)が31℃以上の「危険」
となった場合
※暑さ指数については、裏面を参照してください。 |
| 3 周知の方法 | 下校時刻の1時間前頃に、マメールと連絡網（まなびポケット）で配信しますので、内容をご確認ください。
※メールにお気づきになれない場合には、学校で児童を
待機させ、電話にてご連絡します。 |
| 4 その他 | ご不明な点等がございましたら、本校教頭にお問い合わせください。 |

（教頭 安部 行史 TEL 72-2277）

暑さ指数

運動に関する指針

気温 (参考)	暑さ指数 (WBGT)	熱中症予防運動指針	
35℃以上	31以上	運動は原則中止	特別の場合以外は運動を中止する。 特に子どもの場合には中止すべき。
31℃以上 35℃未満	28以上 31未満	厳重警戒 (激しい運動は中止)	熱中症の危険性が高いので、激しい運動や持久走など体温が上昇しやすい運動は避ける。 10～20分おきに休憩をとり水分・塩分の補給を行う。 暑さに弱い人※は運動を軽減または中止。
28℃以上 31℃未満	25以上 28未満	警戒 (積極的に休憩)	熱中症の危険が増すので、積極的に休憩をとり適宜、水分・塩分を補給する。 激しい運動では、30分おきくらいに休憩をとる。
24℃以上 28℃未満	21以上 25未満	注意 (積極的に水分補給)	熱中症による死亡事故が発生する可能性がある。 熱中症の兆候に注意するとともに、運動の合間に積極的に水分・塩分を補給する。
24℃未満	21未満	ほぼ安全 (適宜水分補給)	通常は熱中症の危険は小さいが、適宜水分・塩分の補給は必要である。 市民マラソンなどではこの条件でも熱中症が発生するので注意。

※暑さに弱い人：体力の低い人、肥満の人や暑さに慣れていない人など

(公財) 日本スポーツ協会「スポーツ活動中の熱中症予防ガイドブック」(2019)より